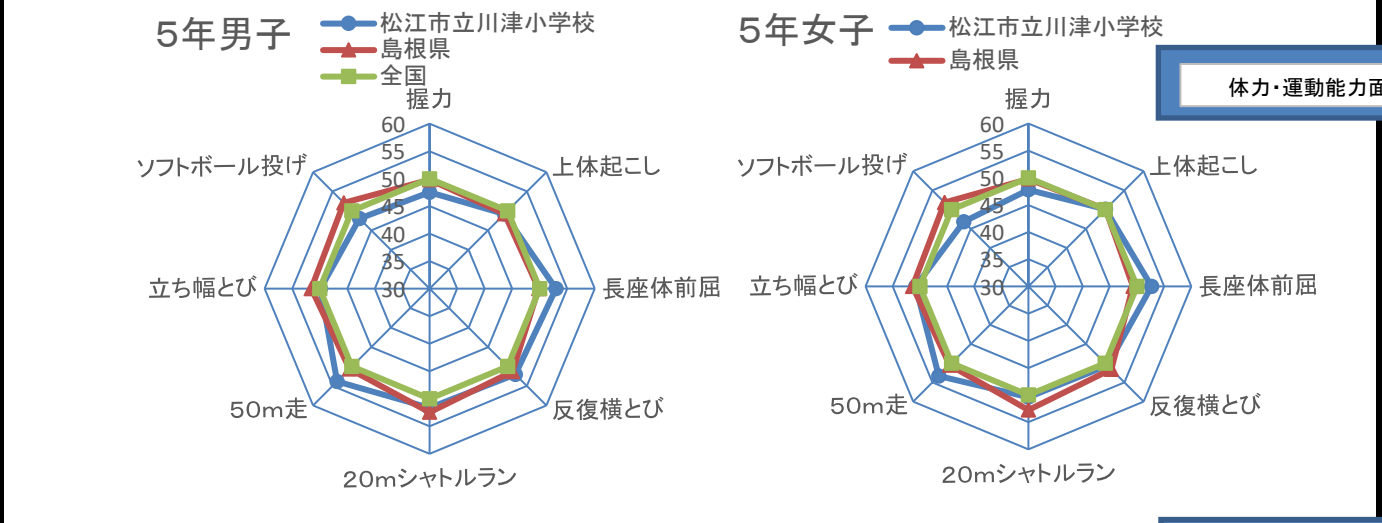
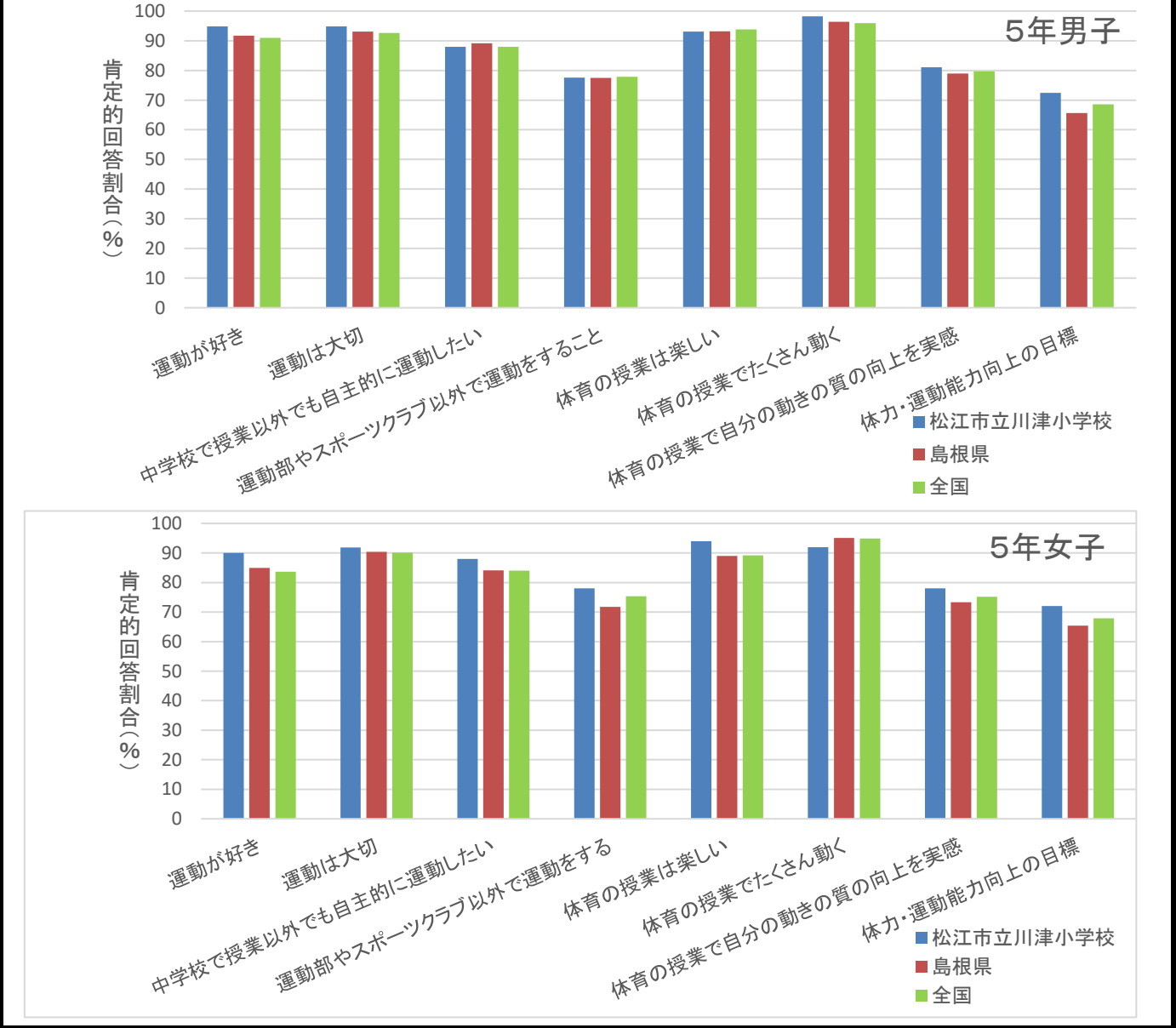


(1) 令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)

(2) 調査結果の分析



全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査＜意識調査＞の結果
(体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています)



① 体力・運動能力面

強み
○男子では「長座体前屈」「50m走」「20mシャトルラン」「反復横跳び」が全国平均を上回っている。特に「走力」が強み。 ○女子では「長座体前屈」「50m走」「20mシャトルラン」「反復横とび」「上体起こし」「立ち幅とび」が全国平均を上回っている。特に「走力」が強み。
課題
●男子では「握力」「上体起こし」「立ち幅跳び」「ソフトボール投げ」が全国平均を下回り、特に「筋力」が課題。 ●女子では「握力」「ソフトボール投げ」において全国平均を下回り、特に「巧緻性」が課題。
次年度の対策
○体づくりとなる運動種目を体育の授業前半の準備運動の時間に実施する。 ○校内研修の改善による教員の指導力向上を目指す。

② 意識面

強み
○男子では「運動が好き」「運動は大切」「体育の授業でたくさん動く」の割合が全国平均よりも高く、肯定的な回答の割合が90%を超えている。 ○女子では「運動は大切」「体育の授業は楽しい」の割合が全国平均よりも高く、肯定的な回答の割合が90%を超えている。
課題
●男子では「中学校で授業以外でも自主的に運動したい」「体育の授業は楽しい」の割合が全国平均よりもやや低い。 ●女子では「体育の授業でたくさん動く」の割合が全国平均よりも低い。
次年度の対策
○学校生活の中での運動環境を充実させる。(各学年の単元計画に即した、運動ウィークの実施) ○長期休みに家庭での運動環境づくり(チャレンジカードの配布)

(3) 令和4年度の方針【学校全体での取組】

- ① 体力向上や体育授業に関する校内研修会等の計画について
・投力、握力を高める運動について、効果的な指導法の研修機会を設ける。
- ② 体育科授業の工夫・改善について
・全学年共通の準備体操の時間にできる体づくり運動の計画・実施。
・各領域で身につけさせたい技能(逆上がり、壁倒立、開脚跳び、台上前転、二重跳び等)を選び、全校で毎学期達成率を確かめながら継続した指導をし、運動への意欲と運動能力の向上を図る。
- ③ 体育授業以外の活動の工夫について
・運動環境の整備を計画し、施設の充実を図る。
・鬼ごっこや縄跳びなどの長時間できる遊びのイベントを計画し、毎学期に実施する。
- ④ 家庭・地域、近隣の学校・園等との連携、情報発信について
・夏休み、冬休みに、家庭で体力づくりとして「ジョギング」「なわとび」「ストレッチ」などに取り組む。その際に「チャレンジシート」や「認定証」を活用する。
・高の杜学園各小学校において情報交換し、低・中・高学年の系統的な指導や、小学校の指導計画の改善に生かす。
・地域のスポーツ少年団の活動に教員も関心をもち、児童への励ましの言葉や応援により意欲的に取り組めるようにする。
・「食事」「睡眠」「運動」の三原則の大切さを各学年の発達段階に応じて指導し、家庭にも便りで啓発する。
・年間指導計画を基に、栄養教諭と連携協力を図って食育を進める。